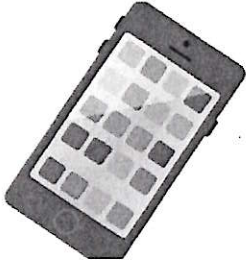


「夏休みを安全で有意義に過ごすために～情報機器との賢い付き合い方～」

校長 吉行 一敏



まもなく子供たちが待ちに待った夏休みが始まります。一学期の間、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、近年の情報機器の進化の速さには目を見張るものがあります。私自身もスマートフォンやタブレットを手に取り、SNSでの交流や調べ物、動画視聴、音楽、ショッピングなどを楽しむ中で、子供の頃に科学雑誌で見た「未来の世の中」が現実になったことを日々実感しています。学校教育においても、子供たちが学習の中で一人一台の端末を使用することは、今や当たり前の光景となりました。

しかし、こうした情報機器は大変便利なものである一方で、その使い方を一歩間違えると、大きなトラブルや犯罪に巻き込まれるリスクをはらんでいるのも事実です。特に夏休みは、学校という枠組みを離れ、自宅で過ごす時間や友達とスマートフォン等でやり取りする機会が格段に増えます。実際に、SNSを通じた友達同士のトラブルやいじめへの発展、睡眠不足による健康被害、さらには対人関係能力の低下や歩きスマホによる事故など、その弊害は周知の通りです。

こうした中、私たちが考えるべきは、単に使用を禁止したり遠ざけたりすることではありません。これからの時代、情報機器を全く使わずに生活することは現実的ではなく、大切なのは「いかにうまく付き合い、有効活用するか」という視点です。そこで本校では、子供たちが安全にSNS等を利用できるよう「一小SNSルール」を策定しました。この夏休みを迎えるにあたり、特に意識してほしいのは以下の点です。

第一に、「人を傷付けない」という強い意識をもつことです。本校のルールでは「友達に面と向かって言えないことや悪口は絶対に書かない」と決めました。画面越しでは相手の表情が見えないため、言葉が鋭くなりがちですが、送信前には必ず「誰が見るか」「見た人がどのような気持ちになるか」を読み返して考える想像力をもってほしいと思います。

第二に、人権意識をもった情報の取り扱いです。「友達の写真や動画を許可なく撮影・発信・拡散しない」という項目を定めました。安易な撮影や投稿が人権侵害に繋がるケースも増えており、自分や友達の個人情報を守ることは、自分たちの安全を守ることに直結します。

第三に、家庭でのルール作りと大人の姿勢です。「子供は親のスマホの使い方を見て育つ」と言われます。私たち大人が食事中や会話中にスマートフォンを手放せなかったり、歩きスマホをしていたりすれば、子供たちがその影響を受けるのは当然です。ぜひこの機会に、各ご家庭で「一日の利用時間」や「夜9時以降は使用しない」といった具体的なルールを話し合ってください。また、お子様の安全を守るための「フィルタリング」の設定も、保護者の皆様の重要な責任です。

SNSは正しく使えば、友達との絆を深め、世界を広げてくれる素晴らしい道具になります。しかし、そのためには「自分も相手も大切に使う」というマナーとルールが欠かせません。この夏休み、子供たちが情報機器を賢く有効に活用し、トラブルのない、心豊かな時間を過ごせるよう、学校と家庭で手を取り合っていければと考えております。「大きなお世話だと思いう前に、やってみませんか！」

有意義で、安全な夏休みになることを心より願っています。

【一小SNSルール】

- ① 友達に面と向かって言えないことや悪口は絶対に書かない。
- ② 友達の写真や動画を許可なく撮影・発信・拡散しない。
- ③ 自分や友達の住所や名前、写真などの個人情報は絶対に載せない・送らない。
- ④ インターネットで知り合った見知らぬ人とは絶対に連絡を取らない・絶対に会わない。
- ⑤ 一日の利用時間は親と話し合って決める。
- ⑥ 歩きながらスマホは使用しない。
- ⑦ 家族と出かけたときは、家族と話し、スマホは使用しない。